

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	機械4年	科目コード	47011212
科目名	東洋史 Asian History				
担当教員	久保田 和男				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(A-1)		
授業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前近代史の日中交流についての諸問題を検討する。 ・東アジアの海域交流史への理解を通じて、日本文化の成立を考える。 				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考					
	授業項目	時間	内容		
1	オリエンテーション	2	東アジアの地理を理解する。		
2	古代中国文明と東アジア	2	中国文明と日本の新石器時代の関わりを理解する。		
3	漢代の東アジアと倭国	2	倭国の形成を中国歴史書から理解する。		
4	三国時代と卑弥呼	2	卑弥呼はなぜ使いを送ったのか、なぜ魏は卑弥呼を王に任じたのか理解する。		
5	南北朝時代の東アジア・倭の五王	2	仏教の中国伝来と朝鮮・日本への伝播を理解する。		
6	遣唐使と「日本」の成立	4	「日本」という国号や「天皇」という称号の生まれた背景を遣唐使の時代を通じて考える。		
7	東アジアの変動と遣唐使の中止	2	遣唐使はなぜ中止されたのか理解する。日本と宋との貿易関係を理解する。		
8	宋代の経済と、日宋貿易	2	奈良の大仏再建における日宋貿易の役割を中心に考える。		
後期中間試験					
9	元寇とその東アジア的な意義	2	元寇に関わった、高麗や南宋そして鎌倉幕府を通じて元寇を理解する。		
10	倭寇と日明貿易	2	日本国王に冊封された懐良親王と足利義満の目的について理解する。		
11	鎖国と日中の貿易関係	2	江戸時代の対外政策について理解する。		
12	アヘン戦争と日本の開国	2	東アジアにおける「西欧の衝撃」を考える。		
13	明治維新と洋務運動	2	帝国主義に対する伝統アジアの対応を考察する。		
14	まとめ	2			
15					
学年末試験					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	東アジア海域交流史を理解できていること。東アジアの歴史地理的な基本的な知識を理解できていること。これらを満足することで、学習・教育目標のA-1の達成とする。				

成績評価	2回の定期試験の成績（80％）と、授業への取り組む姿勢（20％ ノート点検で判断する）で評価する．合計の6割以上を獲得した者を、A-1を達成したのものとして、この科目の合格者とする．
教材	『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）を持参すること。 参考書：東野治之『遣唐使』（岩波新書） 榎本渉『僧侶と海商たちの東アジア』（講談社選書メチエ）五味文彦『大仏再建』（講談社選書メチエ）その他は、教場で紹介する．
オフィスアワー	月曜日16:00～17:00 一般科棟1F東 社会科教員室 2